

1. 政治情勢関連ニュース ※①、②はメディアなどから転載、③以降は独自取材

①1/05、バングラデシュ総選挙、野党ボイコットの中で投票

1/05、与野党の対立で政情不安が続くバングラデシュで、議会(一院制、定数350)選挙が行われ、即日開票された。バングラデシュ民族主義党(BNP)など野党約20党がボイコットしたため、投票締め切りとともに、与党連合の過半数獲得が確実になった。しかし、野党支持者ら数千人はこの日、火炎瓶を投げ付けるなどの抗議活動を展開し、地元メディアによると、治安部隊との衝突などで少なくとも19人が死亡。ハシナ首相は軍を動員して暴動の封じ込めを図ったが、混乱は全土に広がっている。総選挙では、各党に配分される女性枠50議席を除く300議席が投票で争われた。しかし、大半の選挙区で与党アワミ連盟と与党系の候補者だけが立候補しており、153選挙区で当選が決まった。中立の選挙管理内閣の下での実施を要求してきた野党バングラデシュ民族主義党は、ハシナ首相による投票強行を「恥ずべき茶番」と批判。野党支持者らは投票所100カ所以上に放火し、投票用紙を燃やすなどの抗議活動を展開した。

投票結果が国内外で受け入れられておらず、今後も政情不安が続くとの見通しを示した。投票率は公表されていないが、治安への懸念も手伝い、首都ダッカの投票所はいずれも閑散としていたという。同国では選挙日程が発表された昨年11月下旬以降、野党支持者らが治安部隊と衝突するなどして、110人以上が死亡。米国や欧州連合(EU)は選挙監視団の派遣を見送るなど、国内外から選挙の正当性を疑問視する声が上がっていた。

②1/12、バングラ新内閣が発足＝選挙「正当性」不透明なまま

1/12、先の議会(一院制)選挙で圧勝した与党アワミ連盟のシェイク・ハシナ総裁(66)が首相就任宣誓を行い、新内閣を発足させた。ハシナ氏の首相就任は2009年に続き、2期連続。ハシナ政権下での選挙に反発する野党のボイコットを無視して強行された今回の選挙。ハシナ氏の任期は5年だが、国内外からその「正当性」を疑問視する声が上がっており、反対世論を抑え切れなければ短命に終わる可能性もある。選挙管理委員会によると、5日実施の選挙で改選された300議席中、アワミ連盟は8割近くを獲得した。その大半は対立候補がいなかったことによる無投票当選だった。ハシナ氏は野党側の暴力的な反政府運動には「断固とした対応」を取ると表明。同国では投票日前後、野党支持者らが治安部隊と衝突するなどして、少なくとも26人が死亡した。

③確執選挙前、暴力活動頻発

「ばかばかしい」選挙に最後の抵抗として、野党がゼネストを行い暴力に苛まれたバングラデシュの選挙の前夜、数十箇所の投票場が放火された。選挙をボイコットしているバングラデシュ民族主義党は48時間のストライキを呼びかけたが、与党独り舞台の選挙のなかで、首相シーク・ハシナの再当選を妨害する可能性はほとんどない。ストはBNP党首のカレダ・ジアは「恥ずべき道化芝居」と呼んだ選挙の「完全なボイコット」とを有権者に訴え、彼女を自宅監禁にした政府を告発した。10月に投票日が決定されてから、選挙関係の争いで約150人の人々が死亡した。オブザーバーたちはパキスタンに対する1971年の独立戦争以来の流血の事態に、この選挙が火をつけるのではないかと恐れている。

土曜日の朝、野党の活動家がアワミ連盟のサポーターと衝突してパトグラムという北の町で殺されたと警察は言った。抗議者たちは火を放ち、34の投票場に放火した。しかしこれらの攻撃で選挙が狂うものではないと幹部は強調している。政府は公式にジアが留置されていたことは否定しているが、側近は彼女がほぼ1週間ダッカの自宅を離れることを禁止されていたと伝えている。バリヤを越えることができないように放水砲や砂トラックを待機させ、何十人という機動隊が彼女のうちの回りに姿を見せていた。ハシナが中立の前提内閣による監視の要求を拒否した後、BNPとその他20の政党は選挙をボイコットしている。車やバスへの相次ぐ爆弾攻撃が続く、多くのバングラデシュ国民はこの騒動の間、家から外出するのを恐れている。1,200人の野党活動家たちが留置されたと警察は言っているが、本当の数字はもっと多いと党内の人々は言っている。50,000人の軍隊が騒動を抑えるために、バングラデシュ中に配置された。アメリカ、EUなどは、野党が信用性が欠けていると言っている選挙への監視官を送ることを拒否した。アワミ連盟やその同盟者が300の議席のうち153議席を対抗者無しで勝ち取ることは疑う余地もない。ジアは「対立の道を選んだ」と訴え、ハシナは選挙のフレームワークが一致するまで選挙を延期するための全ての要求を拒否した。

④選挙暴力で少なくとも18人死亡

安全部隊が総選挙をボイコットしていた野党グループと衝突し、18人以上の抗議者が選挙日の暴動で銃殺された。100以上の投票所(ほとんどが地元の学校である)が投票の前日放火され、選挙委員会によると、400の投票所で投票が中止された。警察は、「投票所に放火し、投票用紙を盗み投票を妨害しようとした野党活動家たちに発砲した」と語った。予備警察オフィサーも一人、野党サポーターに殴り殺された。ゼネストがその後48時間連続して行われるとアナウンスのあった後も暴動は続いた。バングラデシュ民族主義党とその他20の政党は、かつての「選挙を中立暫定政府のもとで

行う」という取り決めを、ハシナの政府が2011年に反故にする決定をしたため、それに抗議し選挙をボイコットすることにした。ハシナのアワミ連盟政府は、国際的な圧力を受け、選挙を遅らせることで妥協し、全ての野党政党が選挙に参加することを待った。しかし野党勢力はボイコットの方針を変えなかった。EU とその他の国際機構は、ボイコットが大規模になったため選挙を監視することを辞退した。暴力や妨害にも拘らず、選挙は300の選挙区のうち147の選挙区で行われたが、残りの地区ではその候補者対抗するほかの立候補者はいなかったため政府は既に勝利を確信していた。

⑤ハシナ首相:「選挙は合法」と主張

ハシナ首相は、「野党各党は選挙をボイコットし、民主主義よりテロ活動に没頭して“電車に乗り遅れた”」と、語った。月曜日の衝突で、5人が死亡し、二日間の間に選挙関係の暴動で死亡者の数は26人になった。ハシナの政府が選挙の前に、中立の暫定政府に権力を譲らず、現政府の手で選挙を行おうとしたため、野党は選挙をボイコットした。2ヶ月の間、野党は選挙を阻止しようと、ストライキを強行した。その結果、首都から地方へ移動する交通手段も制限され、まったく動けない状態であった。ハシナ首相は、「選挙は合法である」と主張し、野党との合意を求めることにも、相互に許容できるシステムの政府の下で近いうちに選挙を行うことにも興味がないことを示した。在ダッカの諸外国の外交官たちは、与党と野党が合意し選挙をやり直すことが、バングラデシュを包みこんだ政治危機に終止符を打つ唯一の方法と信じ、与党が野党と合意できるよう努力したが、無駄だった。

⑥投票率40%

8つの選挙区の中止になったセンターの投票が1月16日に行われることになった。BNPの率いる野党同盟が選挙をボイコットしたため、300の議席のうち153の議席が無投票で決まった。投票を妨害しようとした野党は、多くの投票所を攻撃したため非難されている。なお少なくとも21人の人々が選挙関係暴力で死亡している。投票は17,249の投票場で行われたが、暴力のため205のセンターでは中止された。選挙委員会によると139の選挙区で415,000人の有権者が投票したが、250,000の投票がキャンセルされた。

⑦諸外国の否定的反応

半分以上の議席が競うことなく、残りは形だけの野党だったので、アメリカ、イギリス、カナダなどの諸国はバングラデシュで終わったばかりの議会選挙を「失望」と表現した。彼らは日曜日の選挙の結果が人々の意思を反映することができておらず、新政府に「自由で公平で、信用ができ、平和で本当にすべてが参加できる選挙を、もう一度行う道を見つけるため会話すること」を呼びかけた。世界の勢力ある国々は、与党アワミ連盟が3分の2の議席を獲得し、選挙をボイコットした野党が「ばかばかしい」と表現した選挙が終わった後、すぐに急激な反応を示した。それぞれの声明の中で各国は可能な限り強力な言葉で、バングラデシュのリーダーたちに、少数派に対する暴力や脅迫を直ちに止めるように要求した。インドの外務省は、「バングラデシュの人々は彼ら自信の将来と彼らの代表者を選んだわけであるが、暴力で前進することは可能なことではなく、またそのようなことをするべきではない」と言った。インドが選挙後、公式に反応した最初の国である。

⑧与党アワミ連盟勝利:ボイコットと暴力の選挙

バングラデシュの与党は、わが国の歴史の中でも最も暴力的だった選挙に勝った。この選挙はストリートファイティング、低い投票率そして野党のボイコットで、結果は最初からわかっていた。与党アワミ連盟による勝利は疑いの余地はなかったが、日曜日の投票所を取り囲んだ大混乱は、バングラデシュを最も深い混乱そして不景気に投げ込むであろう。そして1億6千万の貧困な国を、もっと暴力へ引き込んでいく可能性もある。本日、選挙委員会は「政府を構成するための151議席をはるかに超えた議席の232議席を、アワミ連盟が勝ち取った」と発表した。野党は、中立政権に選挙を監視することができるようハシナ政府に総辞職を要求した。バングラデシュ民族主義党(BNP)を含め野党のグループは、ハシナが彼らの要求を拒否した後、選挙のボイコットを宣言し実行した。彼らは要求を実現するために、破壊活動を行った。ストをしたり、交通封鎖をしたりして、ここ数ヶ月間、国を動揺させた。昨年2月から300人近くの人々が殺された。EU、アメリカ、そしてイギリス連邦は、選挙の監視団を送ることを拒否した。選挙後、バングラデシュ政府には諸外国から、野党と話し合いを持つように圧力がかかってきた。

2. 社会・経済情勢ニュース

①社会混乱、GDP成長に重荷

バングラデシュ銀行は、市中の騒動のために、バングラデシュのGDP成長率は、今年度の政府目標の7.2%から5.7%から6%に減速すると発表した。国際通貨基金はバングラデシュのGDP(国民総生産)の成長は5.5%であろうと予測しており、世界銀行では5.7%と予想している。ことにサービス部門は、政治混乱のため、大きな打撃を受けているとバングラデシュ銀行は語った。

②社会混乱、民間部門の雇用を50%減少させる

雇用が、特に民間部門で、現在続いている政治混乱のために急激に減少している。投資委員会(BOI)のデータによると、2013年の1月から11月には前の年の同期に比べ50%も全体的に雇用が減少している。不動産、テキスタイル、RMG、バンキングそして消費者市場を含めた主要なリクルート部門では60%を超える低下を見せている。Bdjob.com(バングラデシュのオンライン・リクルート)を立ち上げたファヒム・マシュール氏は、「昨年一年間は政情不安のために新規のリクルートは下降の傾向を見せていた。最近では製造工場のほとんどが100%の稼働ができず、新しい職場の雇用はほとんどない」と語っている。バングラデシュ輸出業者協会(EAB)会長アブダス・サラム・ムシェディーは、「近頃ではRMG部門で新投資は大幅に下がり、新雇用の余裕はまったくない。最近の政治混乱の中、ここ6ヶ月の間に40%以上輸出注文が減少している」と語っている。

③社会混乱、中古車輸入業者を直撃

ここ3ヶ月間、中古車業者は、現在続いている政治的騒動のために、ほとんどショールームを開ける事ができず、窒息状態にある。5000台以上の輸入された車が、チッタゴン港とモングラ港に足止めになっている。次の3ヶ月間の新車と中古車の輸入数もごくわずかである。バイヤーも販売者も、暴動から車を守りたかったからだ。バングラデシュ中古車輸入者及びディーラー協会会長(BARVIDA)の会長Md.ハビブウラ・ドンは、「政治的暴動が起きれば、車が一番破壊の対象になっている。車に火をつけるのが最近の傾向になっており、販売者をパニックに陥れている。だから政情不安の間はショールームを閉めているのだ」と語っている。BARVIDAは現在運輸省に、港に足止めされていることで課される港保管料金の免除を要求している。すでに2008年と2009年の販売できず港に留まっている中古車の値段は、減価償却費として30万タカから40万タカ減少している。中古車輸入業者たちは、今年15,000台ぐらい販売できると計画していたが、彼らの予想は現在かなり減っている。バングラデシュ道路輸送当局(BRTA)によると、登録された自動車は2011年12,473台、2012年9,189台と減少してきている。販売のマイナス成長により、ここ2年の間に政府は350億タカの税収損害を出している。

④RMG部門への新規投資、急減

いくつかの悲劇的な事故が起こり、しかも現在進行中の政情不安のために、現在の2014年度上半期のわが国の既製服(RMG)部門への新しい投資は著しく低下した。銀行融資の高い利子や、長引くエネルギー危機、産業に対する国際陰謀なども投資家の興味を減少させる原因になっている。12月15日までの投資は、2012年度の12件に対し、わずか3件のRMGユニットが株式会登録官のリストに載っただけであった。これは270億ドルに相当するわが国の輸出80%を背負うこの業界を包み込んだ不安定さを反映している。新しく工場を建設するために、バングラデシュ衣料メーカー及び輸出業者協会(BGMEA)に申請した数も、1年前の69から48に減っている。バングラデシュ輸出業者協会(EAB)会長アブダス・サラム・ムルシェディによると、RMGの注文は現在の会計年度の上半期は30%から40%減少し、これはこれから2~3ヶ月間の輸出シナリオに影響するであろう。

⑤衣料付属品部門、3か月間で1億ドルの損害

わが国のアパレル付属品メーカーは、度重なるストライキと封鎖などで、ここ3ヶ月間で1億ドルのロスが生じている。バングラデシュ衣料付属品及び梱包メーカー及び輸出業者協会(BGAPMEA)の会長は、「一度バングラデシュは注文を失うとそれを取り戻すのはとても難しくなる。付属品は運送危機のためにその発送期限に間に合わず、そしてこのために注文がキャンセルされた。ストライキの間、ひとつの場所から別の場所への移動は、ストライキをしている人たちが輸出製品を積んだ車に殴りかかり火をつけるのでリスクが多い。わが国のアパレル付属品と梱包市場は、全ての製品の15%が直接輸出、残りの85%が既製服、冷凍食品、医薬品などのような製品に付加されて輸出されている。付属品メーカーは通常、輸出商品の材料輸送のために12,000タカから15,000タカ支払っているが、ストライキの間は45,000タカ支払うことになった。このような政治混乱により次々と起こる危機に取り組むために、アパレル付属品市場は彼らの注文に対し5%の現金助成金、ソフトローン及びローンの組み替え、頭金を要求している。アパレル付属品と梱包メーカーは、2010年度18億ドル、2011年度27.5億ドル、2012年度41億ドルと順調に伸ばしてきたが、今年度の輸出目標の51.5億ドルを達せするのはとても難しいであろう。

⑥織物衣料部門、輸出目標に達せず

わが国の織物衣料部門はここ5ヶ月の間政府が掲げた酷評の外貨を稼ぐことができず、この部門で今年度掲げた外貨目標を達成できるのかどうかは定かではない。輸出推進局(EPB)によると織物衣料部門は、今年度最初の5ヶ月(7月から11月)の間に47億9224万ドルの外貨を稼ぐ目標を立てていたのだが、実際に稼いだ外貨は47億5353万ドルで0.81%ほど目標に達していない。バングラデシュ衣料メーカー及び輸出業者協会の副会長シャヒドウラ・アジムは、「既製服(RMG)部門は、現在進行中の政治混乱のため、高いハードルに直面している。この部門では政情不安が広がる中、労働者争議のぶり返しにも直面し、このことが生産の妨げになっている」と語った。BGMEAによると、国内には2000近くの織物工場がある。織物工場は国内のRMG製品の50%以上貢献しているのだ。EPBデータによると、現在の

会計年度の最初の5ヶ月間でRMG部門の目標外貨収益は、92億495万ドルとしていた。この金額のうち、全体の52%にあたる47億9224万ドルがこの織物部門から上がると思われていたが、この織物部門での収益低下現象は、全体の目標が達成できるかどうか先が案じられている。

⑦12月、377万ドル相当のRMG注文がキャンセル

繰り返されるストライキと封鎖のために、衣料メーカーは船積に間に合わせる事ができず、海外のバイヤーは12月に377万ドル相当の注文をキャンセルした。バングラデシュ衣料メーカー及び輸出御者協会が12月1日から26日の間に31の工場を対称に行った調査によると、20の工場が注文をキャンセルされていることがわかった。調査によると、この間24の輸出業者が締め切り間に合わせるために115万ドルを航空輸送のために費やした。これに付け加え、20の工場バイヤーが製品を約束の期間に受け取れなかったという理由で、172万ドル相当が値引きされた。船積の遅れで28の輸出業者は783万ドル経費がかさみ、封鎖やストライキで破壊攻撃を受け13の工場が230万ドルの被害を出した。BGMEAの副会長レアズ・ビン・マハムドは、「注文は既にバングラデシュから他の国々、特にベトナムやインドに移されている」と語った。

⑧BEPZA、1月末までに新賃金決定

バングラデシュ輸出加工地区当局(BEPZA)は、一月末までにわが国の輸出加工地区(EPZ)で働く労働者の新賃金構成を発表することにしている。EPZの外で働いている労働者の改正された賃金構成は2013年12月1日から有効になっており、BEPZA当局も次の1月までにはEPZ内で働く労働者のために新しい賃金構成を発表するために取り組んでいる。BEPZAによると、この地区で働いている衣料工場の労働者たちはEPZの外で働いている労働者よりも多くの賃金を得ている。衣料部門のヘルパーは最低賃金一ヶ月48ドルを得ており、電気関係や他の関連企業のジュニア・オペレーターは58ドル、テキスタイルや化学産業、その他関連産業の技術を持たない労働者は53ドルを得ているのだ。労働者の以前の賃金構成によると、EPZ外の衣料工場でのヘルパーは37.97ドル(3000タカ)の賃金であり、EPZ内の同レベルのヘルパーは48ドル(3792タカ:1ドル=79タカ)であった。衣料部門の労働者の要求に従い、政府は先の11月ヘルパーの新最低賃金67.09ドル(5300タカ)を発表した。BEPZAは今度の1月までには新賃金構成を発表するものと見られている。

⑨近い将来、RMG 景気回復対策

政府は中央銀行と協力し、政情不安のため大きな影響を受けている衣料部門に、景気回復対策を実施する計画を立てている。政府は輸出税を現在の0.80%から0.50-0.60%に引き下げる可能性を示唆している。ただし衣料メーカーは0.25%を求めている。また政府は現在輸出手続きの5%を現金助成しているが、それを6%に引き上げることも考えている。そして銀行も衣料メーカーの輸出収益に応じて、現在の25%から引き上げ40%まで現金融資することを考えている。助成金は1.5年有効である。

国営銀行は彼らの不履行融資はずっと続いている封鎖やシャットダウンのために年度末には4-6%に上昇するであろうと、政府と中央銀行に既に報告している。民間の商業銀行も中央銀行に不履行融資が12月までに1-1.5%になるであろうと昨日報告した。彼らも政情不安から起きる損害を挽回するための手段を求めている。そのほかの要求として衣料メーカーは、現在受けている全ての融資の分類規則を緩めるべきであり、テキスタイル、衣料そしてそれに関連する企業のローンに2年の猶予期間が与えられるべきであるとしている。しかし、バングラデシュ銀行は、「卸売りのベースでは規則を緩めることはないが、本当に影響を受けた工場には個別に補償制度を用意している」と語った。

⑩パキスタン、EUのGSP取得 衣料輸出業者困難に直面

EUがパキスタンに取引恩恵を与えたため、バングラデシュのアパレル部門はさらに激しい競争にさらされることになった。この関税恩恵でヨーロッパ市場に対するパキスタンの輸出は、年間10億ドル増加するであろう。これはバングラデシュの現在の総衣料輸出の60%を吸い取ってしまうことになる。現在、パキスタンの輸出は欧州圏に61億ドル以上に相当する衣料を輸出していて、税金に関する恩恵を受けることになると、バングラデシュはEU市場でパキスタンと競争しなくてはならなくなる。同じ計画の下で、現在、バングラデシュは最も開発度が低い国としてヨーロッパから武器以外の全ての製品に対して全て免税になっている。このGSPがなくなれば、バングラデシュは12.5%の税金を支払わなければならない。小売業者はリスクの高いバングラデシュとは取引を続けたくないと思っている。南アジアは大切な原材料、綿があるのでパキスタンが次の選択地となると考えている。もしパキスタンが小売業者に良い印象を与えれば、他の場所には行かないであろう。さらにアメリカドルに対しインドルピーが安くなり、バングラデシュタカが高くなったため、既にその競争力を失っている。

⑪ヒューマン・ライツ・ウォッチ、ダズグリーン被害者の補償を要求

ニューヨークに本部がある弁護組織団ヒューマン・ライツ・ウォッチは、昨日、もう一度ダズグリーン・ファッションに委託をしていた各ブランドに、「一刻も早く犠牲者に、公平な保証金を支払うために、基金集めをするためにILOに協力するよう」呼びかけた。11月12日に112人の犠牲者を出したダズグリーン・ファッションの火災から1年が経つが、被害者は未だ

に十分な保証金を受け取っていない。火災の後、アメリカのブランド:ウォルマート、デルタ・アパレル、ディッキーズ、シヨン・コムズ/エニス、デズニー・アンド・シアーズ、ヨーロッパのブランド:カール・レイカー、KIK, C&A, エディンバラ・ウーレン・ミル、エル・コーテ・イングレス、ピアッツァ・イタリア、そしてテディーズミス、香港のリー・アンド・ファンのラベル、衣服そして書類が工場跡地で見つかった。しかし、それぞれの会社は、彼らの知らない間にタズグリーンで衣服が生産されていたと言っている。ヒューマン・ライツ・ウォッチは、これら全ての 19 の会社へ書簡を送り、タズグリーン工場と関係がなかったことを明らかにするように求めたが、どの会社からもまだ返事は来ていない。それでも C&A と香港のリー・アンド・ファンは「意味のある補償」を準備したとニューヨークに本部を置いた民間団体は語った。クリーン・クローズ・キャンペーンによるとカール・レイカーはそのエージェントを通して寄付し、ピアッツァ・イタリアとエディンバラ・ウーレン・ミルズは小規模だが自発的な寄付を申し出ている。KIK,エル・コルテ・インガレスとエニスも金額や時期は明らかにしていないが、彼らも自発的に寄付を行うと言っている。

⑫12日間で、10, 710台の車輛RMG と他の荷物運搬

高速警察とBGMEAは、ダッカー-チッタゴン間を警察の護衛でRMG 製品を運ぶことを開始し、これは効果的であった。封鎖中の真っ只中、今月の最初の 12 日間でアパレル製品やその他の必要品を乗せたトラックとカバー付きのバンが合計 10,710 台、この高速道路を走った。アパレル製品の船積が確実に間に合うようにするようバングラデシュ衣料メーカー及び輸出協会(BGMEA)の協力を得て、高速道路警察局は荷物を積んだトラックとカバーバンの護衛を開始した。高速警察は火曜日からBNP が率いる連盟 18 党による 72 時間連続封鎖の一日目に、それを実行するよう準備を進めていた。BGMEA 筋によると、合計 7,110 台の RMG 製品を積んだカバーバンとトラックが警察の護衛でその間運送された。高速警察筋はこの他の必需品を積んだ車両も護衛したと伝えた。その筋によると野菜や他の必需品を含め合計 3,600 種の荷物が警察の護衛で輸送され、運送に使われた車両は 10,710 台に上った。BGMEA の副会長リアズ・ビン・マハムドは平均 1000 台のトラックが警察の護衛で輸送されたと語った。普段はダッカー-チッタゴン間は 5000 台が通過すると彼は付け加えた。

⑬中国投資家、2200万ドルの紡績・テキスタイルプラントに投資

中国企業が、イッシュワルディ輸出加工地区に、アジアスピニング・アンド・テキスタイル・ミルズを建設するために 2200 万ドルを投資することを決定した。100%海外所有権のこの会社は 1,450 人の職場を生み出すことになる。プラントは 19,000 トンのヤーン、6,000 ヤードの布の生産量を持つ。

以上